

○委員長(工藤 恵美)

- ・ 開会宣告
- ・ 議題の確認

---

1 閉会中継続調査事件

(1) 函館アリーナの整備について

○委員長(工藤 恵美)

- ・ 議第宣告
- ・ 本件については、基本設計の概要が示された時点で委員会を開催し、調査を進めることになっていたが、現在も設計業者と協議を重ね作成作業中とのことである。
- ・ 本日はこれまでの業者との協議事項をまとめた資料が6月5日付けで提出されているので、教育委員会に説明をお願いします。

○教育委員会生涯学習部長(種田 貴司)

- ・ 資料説明：函館アリーナ新築基本設計について(平成24年6月5日付 教育委員会生涯学習部調製)

○委員長(工藤 恵美)

- ・ お聞きのとおりである。
- ・ 今月中には決定できるということだが、ただいまの説明を含め御発言あるか。

○金澤 浩幸委員

- ・ 合併特例債の件はどうなっているか。

○教育委員会生涯学習部長(種田 貴司)

- ・ 私どもも非常にこの行方が心配というか、気にかかっていたのだが、実は先週の金曜日に衆議院を通過し、参議院に送られた。21日までの会期が予定されてるが、何とかそれまでに参議院を通ってくれればと思っているが、その辺、十分に注目しながら、仮に延長にならなかった場合でも26年3月までに完成するスケジュールも一方で設計業者とも話し合いはしており、厳しいけどもなんとかなるだろうということも設計業者からお話もいただいておりますので仮に延びないとしても大丈夫のように進めさせてもらい、何とか合併特例債が延長してもらえればと思っている。

○金澤 浩幸委員

- ・ 理想は函館も延期してもらえるのが一番いいと思うので進めていただきたい。
- ・ 2ページ目の広報のところでもロゴをつくとある。これはどういったイメージか。

○教育委員会生涯学習部参事(3級)(池田 敏春)

- ・ ただいまロゴの件についてご質問をいただいた。

ロゴについては、対外的に広くPRするときに、議論にもなったが、丸い形が二つあり、あれをイメージするような形で何かロゴをつくと、対外的に非常にPR効果が高いといったものが考えられるので、そういう効果を期待し設計業務の中で一定程度ロゴを提案していただくというようなことを

考えている。

○金澤 浩幸委員

- ・ 当初の基本計画にそういうロゴはなかったはずだ。  
ロゴをつくって広く周知するっていうのは、ホームページだとか、あるいは函館でアリーナをつくりましたよ、皆さんコンベンションで来てくださいという時に使うイメージでいいのか。

○教育委員会生涯学習部参事（3級）（池田 敏春）

- ・ ただいま例示いただいたが、対外的に広くPRするっていうのは、ネットもそうだが、刷り物、パンフレット、そういったもの、あるいは積極的につくったあとはPRしてお客さんを呼ばなきゃならないわけで、そのときにこのロゴを用いて函館にこんな丸い施設があるんだなというのは、非常にインパクトを与えるものだと思っているのでネット、刷り物、いろんな媒体を使って活用していきたいと思っている。

○金澤 浩幸委員

- ・ 屋根の形の丸いのが特色だと思うのでそれをイメージしたものになると思うが、それに合わせてアリーナの名称とそのロゴのイメージが合致して、周知しやすい、あるいは親しまれるものになると思う。
- ・ 名称との絡みをどう考えているか。

○教育委員会生涯学習部長（種田 貴司）

- ・ このロゴについては、公募してロゴを集めるという方法もあるかと思うが、やはりこの設計者と私ども今までずっとやりとりをしてきたなかで、イメージをつくってきているので、その設計業者につくっていただくのが望ましいと考えている。
- ・ 名称については函館アリーナという名称で進めていこうと思っており、ただ、まだ検討に入っているわけではないが、いずれネーミングライツのことも一方では考えていく必要があるのかなと思っている。名称は函館アリーナ、そのデザインにふさわしいロゴは決めさせていただくと。  
それとは別に、ネーミングライツも検討しなければならないと考えている。

○金澤 浩幸委員

- ・ 何種類かを設計業者に提示してもらってスタイルになるか、それともいきなり設計業者がこれですよって決定されるのか。

○教育委員会生涯学習部参事（3級）（池田 敏春）

- ・ これは想定だが、これからの打合せになるが、複数案をもらって、その中で最良のものをという形になると思う。

○金澤 浩幸委員

- ・ それは決定する前にこの委員会にも提示してもらって、意見を聞きながらやるということによいか。

○教育委員会生涯学習部参事（3級）（池田 敏春）

- ・ はい。

○齊藤 明男委員

- ・ 機械室などは洪水なんかで被害が出ないように地上に設けると証言をしているが、津波対策で北海

道から想定区域、まだ時間がかかるようだが、以前に概略が出ている。

- ・ この地域の浸水想定は大体どのくらいか、押さえているのか。

#### ○教育委員会生涯学習部参事（3級）（池田 敏春）

- ・ ただいまの津波関係。北海道の津波浸水予想図の関係だと思う。  
私も気になっており、きょう総務部に確認し、いつ頃出てくるのかと話したが、想定では、7月中にその図面が出てくるということで、現状の対策だが、鮫川の氾濫を想定し1メートルのかさ上げをいまのところしている。
- ・ 奇しくもこの基本設計が7月末までの工期だが、7月中に、何メートルっていう浸水の想定図面が出てくる。出てきた場合には基本設計にそれを盛り込めるかどうかというのは難しい部分であるが、一応対策をしなければならないと思っているので、可能なものを可能な限り、出てきた場合に入れていくと考えている。

#### ○斉藤 明男委員

- ・ 7月中に出るということだが、以前にある程度、浸水想定予想が出ている。その辺で部分的に函館市内の浸水予想ってのはわかるはずだ。それは北海道と函館市、自治体間同士の情報なので、確認したほうが良いと思う。
- ・ 一般には公表されていないが、自治体間同士ではそういう情報は仕入れ可能だと思うが、いかがか。

#### ○教育委員会生涯学習部長（種田 貴司）

- ・ 7月中に公表されるということなので、現時点で何とも言い難い部分があるが、5メートル以上あるということはなさそうな地域のように、1メートルから3メートルくらいの範囲で収まる地域かと。  
1メートルであれば、洪水対策で1メートルかさ上げしているの、現状のまま問題ないということになるし、それが2メートルなり3メートルになったときに、今度どういう対策をとる必要があるのかということになる。
- ・ 現時点ではまだこれは示されていないので、私どもとしては現在、洪水対策という前提での基本設計をする中で、公表され次第、対策を講じて実施設計の中に取り入れるものは取り入れていく、可能な限り対策は講じていくというスタンスで今、取り組んでいる。

#### ○斉藤 明男委員

- ・ 報道では函館市内旧4地域も含めて確か、尾札部と椴法華の富浦、それから戸井の弁財のあたりが10メートル以上の想定をされている。当然、旧市内のほうも全体的には10メートルくらいの浸水予想という報道をされていたが、その辺は全く気にしないでいたのか、7月中まで待つのか。事前に対策をとったほうが、7月中ぎりぎりになってから対策をとるよりもより精度の高い設計になると思うが。
- ・ 知らないと言うのであれば、総務の防災担当に問い合わせれば大体の予想図はわかるはずではないか。

#### ○教育委員会生涯学習部長（種田 貴司）

- ・ 総務に話を聞かせてもらい、湯川の市民会館、市民体育館の地域では2けたになるようなことはなさそうな感触で、その半分以下という想定をしながら作業を進めている。

#### ○斉藤 明男委員

- ・ 7月中に出るのを待つよりも前向きに情報を仕入れて、基本設計の中で加味して仕上げてもらおうに要望して終わる。

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 他に御発言はあるか。

○板倉 一幸委員

- ・ ロータリーの設計が適当かどうか検討するということだった。渋滞を招くことになるのは、私もこのプロポーザルコンペの決定された図面を見た時にそういう危惧を抱いたが、同時にこのアリーナに送り迎えをするようなお客様が結構いる。
- ・ 車寄せの場所とか、あるいは公共交通機関で、バスなんかのお客さんを乗せる場所の確保は考えているのか。

○教育委員会生涯学習部参事（3級）（池田 敏春）

- ・ 車の送り迎えの需要とバスの乗降ということだが、バスの乗降については資料にあるが、乗り降りしやすいような場所をきちんと確保するというのを検討しているのだから、図面に反映させていく考えでいる。
- ・ 車の出迎えについてはロータリーがあればそこということになるが、ロータリーを置くことによってさらに渋滞を招くという要素があることも含めて、多元的に考えていた。  
もう一方の渡辺病院側は、市道の1の12号線だが、そちらのほうが狭いので、敷地を食い込むような形で連絡通路を設けるとか、そういったような対策も考えながらいろんな交通のハードを受けとめるような対策を今、考えている。

○板倉 一幸委員

- ・ 基本設計が出てきた段階でまた意見を言いたいと思う。  
ただ、今更の話になるが、今の市民会館および市民体育館で大規模な催し物があると周辺がかなり渋滞する、あるいは車が停まって大変な思いをすることが多いが、私は根本的な解決策が今回のプロポーザルコンペの中ではっきり示されているとは思わない。
- ・ その対策をどうしていくかってことも、設計者側と話をしているのか。道路幅を広げるとか広げないってことは設計業者と議論してもしょうがない話だが、その辺はどうか。

○教育委員会生涯学習部参事（3級）（池田 敏春）

- ・ 交通のハードをどうやって受けとめるかということについては、設計業者とは逐一、打合せをしている最中で、その中で渡辺病院側を広げるとか、あるいはそのロータリーをどうするんだとか、あるいは駐車場の台数、前回250台ということでお話ししたが、これを1台でも多くということで、相当数用意しなければ難しいなと考えているので、そういった方向で交通を受けとめる対策をできる範囲内で今、検討している。

○板倉 一幸委員

- ・ もう一点交通にかかわってだが、バスだけでなく市電に乗っておいでになるお客様もかなり多い。駐車場が限界があるとなると公共交通機関を使っておいでになる方がふえるのは当然だと思う。
- ・ バスの件は後ほど話すが、市電のほうも電停の位置、あるいは安全地帯の形状、こういったことで

利便性と安全性が確保できるのか心配がある。それについてはどう考え、あるいは交通部とそういった協議をしているのか。

○教育委員会生涯学習部長（種田 貴司）

- ・ 御指摘はごもっともで、今もイベント終わった後には安全地帯に入りきらないだけお客さんが並んでいるというようなことがあるので、現時点でまだ行っていないが、企業局とも安全地帯、場所の確保、どういった方法があるのか相談をしたいと思う。

○板倉 一幸委員

- ・ 是非、お願いしたい。バスの事業者とも、これまでもいろんな公共施設ができてからこの路線どうするとか、あるいは停留所どうするのかってことが、事前の協議がなくて、議論がなくて、それからどうするのかってことがよくあるので両交通事業部と十分協議をしていただきたい。

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 他に発言はないか。
- ・ 発言を終結する。
- ・ 慎重に進めていただきたい。
- ・ 理事者は退席願う。

（教育委員会退室）

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 今後の進め方について確認するが、理事者側から説明があったとおり、概要がまとまり次第、引き続き調査を行っていきたい。
- ・ 本件は終わる。

---

(2)防災対策について

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 議題宣告。
- ・ 本件については5月23日に函館市防災会議が開催され、同日付けで当委員会にも資料が配付されており、6月8日付けでは函館市地域防災計画に対するパブリックコメントについての資料が配付されている。
- ・ これらの資料について説明を受けるため、理事者の出席をお願いする。

（総務部入室）

○委員長（工藤 恵美）

- ・ それでは説明をお願いする。

○総務部長（上戸 慶一）

- ・ 資料説明：函館市地域防災計画（平成24年5月23日改訂）  
平成24年度第1回函館市防災会議資料

（平成24年5月23日付 総務部調製）

函館市防災計画（案）に対するパブリックコメント手続の実施結果について

（平成24年6月8日付 総務部調製）

○委員長（工藤 恵美）

- ・ ただいまの説明も含め、本件について発言はあるか。（発言なし）
- ・ 発言を終結する。
- ・ 理事者は退席願う。

（総務部退室）

○委員長（工藤 恵美）

- ・ このことについても、理事者側の動きも踏まえながら引き続き調査を続けていきたい。
- ・ 本件は終わる。
- ・ 閉会中に委員会が行った調査は次の定例会で報告することとなっているが、委員長の報告文については委員長に一任願いたい。いかがか。（異議なし）
- ・ これで閉会中継続調査事件を終了する。

---

2 その他

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 私から1点相談する。当委員会の所管事務調査に係る先進事例調査だが、今年は高校生議会及び議会報告会の開催が予定されているので、例年より早目のスケジュールで日程も含め、考えていく必要がある。継続調査事件となっている防災計画に加えて、北海道新幹線にかかわる諸課題についても先進事例を調査したいと思っている。
- ・ 次回の委員会まで皆さんのお考えを提案していただきたい。
- ・ 他に御発言はあるか。

○阿部 善一委員

- ・ 公共施設からの有料という問題でその後どうなっているのか。この前の委員会で委員長から財務に要綱ができ次第、委員会を申し入れるという話だったと思うが、理事者が来てるけど、きちんと委員会を開いて整理すべき問題じゃないのか。

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 私の認識としては、本来であれば要綱だと机上配付で終わってしまうところだが、この件に関しては理事者に説明をお願いをして終わっているので、配付された時点で理事者が皆さんのところに説明にあがっていると思うが、それで足りなければ自己調査ということになると思う。

○阿部 善一委員

- ・ 自己調査にはならないんじゃないか。
- ・ その要綱がどういう問題があってどういう課題があるかは、全体が共有しなければならない問題で、全体で議論するのが筋じゃないのか。

○小野沢 猛史委員

- ・ 阿部委員から要綱ができた段階で改めて委員会で取り上げるということが担保されれば会派として態度を表明すると確認した上で、いいですねという流れだと思うが。私は改めて委員会で取り上げていろいろ議論する場は当然あるもんだと思っていた、そういう整理ではないのか。

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 御意見はいただいたが、私はそういうつもりで皆さんにお諮りしたつもりでいたが。

○茂木 修委員

- ・ 私もさっき委員長がおっしゃったようなトーンで理解してるし、実態に即したものにしてほしいと、「いや、調査してほしい」との声あり）調査をしてほしい、実態がわかった段階で委員会に報告してほしいと。陳情の真意からいけば実態がわかった段階で委員会に報告をしてもらって、そこで調査する認識でいたが、実態を調査するのに結構、時間がかかると思う。

○委員長（工藤 恵美）

- ・ まだ始まってないからということかと。

○阿部 善一委員

- ・ 要綱ができた段階で速やかに委員会をやるのは当たり前の話だ。各自、それぞれ聞いて、当たってくれという話にはならない。

○小野沢 猛史委員

- ・ 委員会でもう1回審査する機会は持つということを約束した上で民主としては態度表明され、委員長もそういうふうにさばいたと記憶している。

○紺谷 克孝委員

- ・ 今回は要綱を配付して、委員会を開催するという声があれば開催したらどうかと、ただし、新たに委員会を開催して、このためにやるかどうかというのはあったと思う。委員長とは若干食い違いがあるかもしれない。最低でも今度、開催される委員会では議論がされなきゃだめだという確認だと思う。

○阿部 善一委員

- ・ そういう確認だった。

○板倉 一幸委員

- ・ 実態がどうなっているのかは、出てきた段階で見極める必要があるのかもしれないが、要綱だけを取り出して議論する意味があるのかなと感じる。

○斉藤 明男委員

- ・ 委員長が言ったように、要するに要綱ができた段階で机上配付をしないで各委員に説明すると、委員会で再度調査をするっていうことは言ってない。そういう受け止め方ではいた。だから一応、説明は受けたということだ。
- ・ そのニュアンスが、前の委員会の会議録かなんか見ればよくわかるんだろうけども、その辺がお互いに受け止め方が違ってたかもしれない。

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 御意見を聞いていると、私の受け止め方、それから皆さんが受け止めたことが相違があるので、改めて皆さんにお諮りしたいと思う。

- ・ 要綱については通常、調査することにならないが、この件に関してだけは調査するための委員会を開催するという点について御意見を伺いたい。

#### ○阿部 善一委員

- ・ 条例は可決されて7月1日施行と、そのことについて異論を挟むものはないが、わからない部分があって、本会議でまともに答弁していないこともいくつかある。その対象者が学校の先生、あるいは一般市民等々にかかわるもの。これは条例と要綱と表裏一体のものだ。

我々は聞かれた場合、説明しなければならないし、条例だけではわからないから、要綱をつくって委員会に出して議論をしましょう。条例に反対するのではなく、運用のことについて疑義があれば委員会を通してただすのは当たり前の話であって、個々がただす話じゃない。

#### ○金澤 浩幸委員

- ・ 前回の委員会でも、込み入ったところの受け止め方が違うのかと思う。個別に資料の説明を受けるんじゃないくて、委員会として説明を受けるものと私も思っていた。そういうニュアンスで進めてたと思う。委員会で説明を受けたいって方が多いようであれば、委員会で説明を受けてもいいのではないかな。

#### ○茂木 修委員

- ・ そもそも陳情者の願意は実態をきちっと調査してほしいということだ。市として実態把握したものを私達がお聞きするしかない。この条例が実施されていく中で実態は把握されていって、それによってもう1回検証しなきゃいけない部分も今後出てくるかもしれない。だから実態を今の段階でいくら聞いたって、100%把握したものなんか出てこないとは私は認識してる。

学校自体が現状を把握していないっていう現実がある。そこに問題が一番ある。そこが解決されない限り、実態把握されたものは出てこないと思う。

#### ○阿部 善一委員

- ・ 学校が実態を把握しているかどうか、我々はわからない。

#### ○茂木 修委員

- ・ 答弁でもあったが、100%の学校がきちっと事務手続きを取ってるのであればいいが、やってないっていう現実があるから学校として実態を把握していかないと、我々が知りたい、それから陳情で言ってる実態ってのはわかんないと思う。

#### ○委員長（工藤 恵美）

- ・ 陳情の話ではない、陳情はもう終わっている。陳情を離れて、要綱が出された時点で説明を受けて、問題があれば委員会でという声だ。
- ・ それで皆さんの中からきょうお諮りして、説明を受ける必要があると思われる方が多ければ委員会を開催することになる。

#### ○紺谷 克孝委員

- ・ 申請書を集計して、あなたは月3,000円払わなきゃダメだとか、あなたは減免だとか、あるいは該当外だとかいうことが、全部明らかにならないと実施できないのが事実なので今の現状でほぼつかみきれていないと。あるいは22日の常任委員会あたりには、おおむねつかめてないと、7月1日から実施できないと思う。



- ・ そういう点では一定の資料ができるのではないかと想定されるので規則や要綱に基づいて実態がこうで対象者はこれぐらいいるという、いわゆる5,000万円の内訳が出てくるんでないかと私は想定してる。

○阿部 善一委員

- ・ だから委員会をやればいい。

○紺谷 克孝委員

- ・ 私は具体的な中身の資料を要求したほうがいいと思う。そうすると実態がわかると思うから。資料ができるのであれば。

○阿部 善一委員

- ・ やったほうが早い。

○小野沢 猛史委員

- ・ そもそも調査の進め方は委員会が主体的に判断するということになるが、この件については議題として委員会を開いてほしいという要請があれば、委員会で取り上げるという流れできょうまで来たんじゃないかと記憶している。多数決だとか、大勢が、だとかいうようなことでなくて、そういう意見の方が複数いればということできた記憶がするので、それで間違いないとすれば、そうあるべきだと思う。これは調査事件として取り上げるべきだと思う。

○斉藤 明男委員

- ・ 前回、不採択ってことで一応決着してる。今また要綱に対して説明をやるってことになったら、整合性はどうなるのか。

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 前段で話したとおり、陳情に対する調査案件ではないということを確認する。
- ・ それで要綱が作成されたということで、共通認識の説明を求めたいという声が上がってれば、調査案件になっていない委員協議会ということになるが、それを開催するという判断をするが。

○出村 勝彦委員

- ・ いろいろな意見あるけども、正副で全体の把握をして決める、それでいいのではないかな。

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 全員いるので、この流れをみると開催したほうがいいのかなと。

○斉藤 明男委員

- ・ 委員長ちょっと時間をいただけるか。10分くらい会派内の話をしたいと思うので。どうか。

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 市政クラブさんからちょっと時間を欲しいということだが、よろしいか。（はい）

○小野沢 猛史委員

- ・ もう一つ取り上げて欲しいことがある。国際水産・海洋総合研究センター入札、どういう状況か詳しくわからない。国際水産・海洋研究センター自体は企画だし、入札そのものを取り扱うのは調度課なので、そこからいろいろと報告してほしい。

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 実際に予算を立ててるのは企画部だが、ミスがあったのは都市建設部というか、事件があったのは。
- ・ 入札中止ということが事実だから、どうなってるのか調査したいと思ってた。それも委員協議会の議題とするかどうかも含めて、暫時休憩する。

午後 2 時 11 分休憩

---

---

午後 2 時 53 分再開

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 再開宣告

○金澤 浩幸委員

- ・ 前回の委員会での議事録も確認させていただき、委員会で聞くというふうに私は解釈し、委員会として要綱を聞くっていう部分に関しては聞いて全員の意識を一致させるって意味では開かないっていう話にはならないのかなと思う。

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 会派としての御意見でよろしいか。
- ・ 前回の議事録確認すると、私の発言の中にも不明瞭なところがあったかと思う。皆さんに誤解された点は改めてお詫びをする。
- ・ その上で改めて御意見を聞いたところ、要綱の中身について次回の委員会に議題としたいと思うが、よろしいか。（異議なし）

○金澤 浩幸委員

- ・ あくまでも要綱に対してその説明を受けるっていうのが基本だと思ってるので、そこからあんまりかけ離れた議論まではいかないほうがいいのかなと。一応一言お話しておく。

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 陳情はもう終わっている。そのことには触れずにあくまでも要綱について財務部の説明を受けるといことになるので、その辺を踏まえて御意見、御協議をしていただきたいと思う。
- ・ 国際水産・海洋総合研究センターについてだが、これも説明を受けるということでよろしいか。（異議なし）

○紺谷 克孝委員

- ・ 議論を促進させるためにも、一定の該当者、職種だとか、そういう資料ができていなければ、議論しやすいんじゃないかと思う。

○委員長（工藤 恵美）

- ・ 要綱か。

○紺谷 克孝委員

- ・ 要綱に基づいて、例えば各部局に何人ぐらいいるとか、正規職員何名とか委託何人とか、教員が減免何人とか。

どの程度詳しくなるかどうかは別として、議論を進めていく一つのたたき台としてあったほうがいい

いんじゃないかと思う。

○小野沢 猛史委員

- ・ それはあるだろう。

○茂木 修委員

- ・ 正副で確認して、あるのであれば出していただければいい。

○阿部 善一委員

- ・ とにかく議論がスムーズに行くようにいっぱい出してもらえればいい。

○委員長（工藤 恵美）

- ・ それは開催したときの質問とかではダメか。今からの資料要求ではなくて。

○小野沢 猛史委員

- ・ その辺の扱いは正副委員長に一任する。

○委員長（工藤 恵美）

- ・ そのように正副で調整させていただきたいと思う。
- ・ 財務部にもそれも含めて議題とすることを申し添えたいと思う。
- ・ 他に御発言はあるか。（なし）
- ・ 散会宣告

午後3時00分散会